



特集 子どもたちに伝えたいこと 後編 ~伝承・地域愛~

大切なものを後世に伝えたい、先人の思いを次世代に引き継ぎたい。そんな志と地域への愛情を持ち、地道に活動を続ける大人たちの姿があります。未来の山口に先人の思いをつないで行くことは、今の私たちにしかできないのです。

ええやんヒーロー

Vol.17 誰かのために 何かのために活動している人を紹介します。

よねもと たろう 米本太郎さん

1982年生まれ。山口市出身、在住。父親に連れられ幼いころから驚流狂言に親しみ、7歳の時に初舞台を踏む。狂言ではなく「能」の技術を一から学ぼうと東京芸術大学へ。その後、山口へ戻り祖父から2年間農業を受け継ぐ。さらに能を学術的に学ぶため、山口県立大学大学院へ。現在は山口驚流狂言保存会の萬世話方として仕事の傍ら自らも驚流狂言を演じ、狂言の指導にも当たっている。また、山口の歴史を継承していく「特定非営利活動法人再発見やまぐち」の理事長、興隆寺での二月会再興を目指す「二月会再興実行委員会」の委員長も務める。



「生きていくために喰ったために生きていくのか」

趣味を活かし、社会を変えていける人になってほしい。

私が住んできた山口はいろんな「古」と「新」が混在しているおもしろいまちだと思えます。古からの人もいれば、他県から来た人も多い。田んぼや畑からマンションが見える…。私が言える立場じゃないんですが、山口って無理して背伸びして都会ぶらなくても、等身大のままでもいいんじゃないかと思うんですね。瑠璃光寺や雪舟庭など、山口に今ある財産を大切に、合併して広がった山口市内からまだ発掘されていない歴史を見つけて行けたらな、と。

愛すべき山口の財産を深く知る風潮を

物心つく前から父に連れられて、毎週狂言の練習に行っていました。7歳の時に初めて舞台上に上がりました。その時から狂言が続けていますが、実は狂言の練習に行くのが嫌で仕方なかったんです。辞めようと思えば辞められるけど、ずっと思っていました。山口の伝統や歴史を学び、先人が残してきたことを想像するにつれ「驚流が山口に残ったというところは運命なんだ」「驚流に出会った自分が山口の文化を後世に伝えていかなくては」と思うようになったんです。もちろん大変なこと多いですが、驚流狂言をやっていることがたらら底巡り会えないようなことに出会えたことこそが、何にも代えがたい喜びです。

歴史を知ることですげえたい 伝承への「責任」

人懐っこい笑顔が印象的な米本さんは、全国で山口と佐渡の2カ所しか残っていない貴重な狂言の流派「驚流」の若き伝承者。愛すべき山口のこれからは何が必要か、これからの山口を担う子どもたちにどんなことを伝えていきたいか、歴史を伝えていく立場で感じておられることをお聞きしました。

イベント情報

「キネマと音楽のタペ in やまぐち」
平成 27年 3月 1日 (日)
ニューメディアプラザ山口にて
無声映画とオリジナルアニメーションを活弁と生演奏で上映。
主催 特定非営利活動法人 再発見やまぐち

「第6回山寺コンサート」
平成 27年 3月 22日 (日)
大内小学校体育館にて
雅楽の演奏や児童によるこども狂言、童舞の披露など、大内の歴史を身近に感じられるイベント。誰でも観覧可。
主催 二月会再興実行委員会



文化祭で驚流狂言を披露した中学生たちと。驚流狂言という山口ならではの歴史を次世代に伝えていく。

次世代に受け渡す「歴史のバトン」が軽くなるように 文化祭などで驚流狂言を発表すると意気込む中学生に指導したり、狂言教室を開いたりという伝承活動をやっている中で、今の世の中に狂言を受け継いで行くことの難しさを痛感しています。歴史という重圧感を感じさせず、一人の負担が軽くなるようにつなげていけたらな、と、いつも感じています。また、次世代を担う子どもたちには「生きている」ってどういうことかを考えてもらいたいんです。勉強や仕事をやるだけがいいのかとか。生きるために学ぶべきことが他にもあるのに、今の子どもたちは忙しすぎてそれを知ることができない。喰うために生きるだけの社会を変えていける人になってほしいですね。

子どもと一緒に学ぼう！

肉球生活向上委員会 With Wan



ペットと暮らすことをお考えのあなたへ

子どもが「動物を飼いたい！」と言いだした時、あなたならどうしますか？

ちよっと、考えてみて下さい。犬猫は生後半年で繁殖が可能ですが、増えることを望まないなら、まず去勢・避妊手術は飼い主の務め。また、いずれは年老いて介護が必要になったり、ケガや病気で医療費がかかります。きちんとしつけをしないばかりに家族もペットも近所もストレスがたまる。飼い主の引越越しや病気が、体力や経済状況に合わないペットが手に余る、といった問題も起こり得ます。こんなトラブルが原因で飼養放棄され処分される犬がいる事実があるのです。飼い主へのマナーやモラル向上の啓発活動、身寄りのない犬猫の新しい家族探しなどを行っている肉球生活向上委員会ウイズワンは、飼い主が犬のしつけの仕方、学ば「しつけ教室」などを開催し、家族となってくださった皆さんとの交流を続けています。また、事故や迷子に備えての迷子札

装着、殺処分になるところだった犬猫を家族に迎える、迷子犬を見つけたら警察と保健所に通報するなど、一匹の命を守るために私たちにできることを啓発しています。「この犬、猫一匹にも親やきょうだいがいる、どの子も私たち人間と同じように、どの子も生まれただけの命なんです」と同団体。そう考えると、無責任な飼い方はできませんよね。動物たちが私たちに癒しや楽しみを与えてくれるのも事実。ペットを飼うなら家族と同じ「ひとつの命を育てていく」という意識を大切に、せひ良きパートナーとして迎え入れ「最期を看取るまで」の覚悟をお願いします！

今号で取材協力いただいた団体さんはこちら！

取材を終えて
生き物を飼う、となれば、犬でも小動物でも昆虫でも同じ。無駄に増やしたりせず、今いるその子を大事にしてあげることが大切です。日々、人知れず処分を待つだけの犬猫がいるのが現実。どうか少しでも殺処分になる命が減りますように。

犬はしつけ次第でしっかりルールを守れる賢い動物です。飼い主さん、がんばって！

さぼらんてからのナッセージ

特定非営利活動法人 再発見やまぐち

山口県内に残る歴史的資源や伝統文化の保存等に寄与し、地域・団体・個人をつないでいる。
理事長 米本太郎
TEL 083-928-9955

二月会再興実行委員会

江戸末期に途絶えた、山口市内御堀の興隆寺での祭り「二月会」の再興と、地域再生、文化の発展を目指している。二月会は、五穀豊穡を願い、子どもたちによる舞や弓の腕を競う歩射などが行われ、大内氏が最も大事にした祭りと言われ、2月半ばに開かれていた。
委員長 米本太郎
TEL 090-6406-0245

山口驚流狂言保存会

山口に伝わる驚流狂言が衰微するのを何とか食い止めようと昭和29年に結成。昭和37年から続く驚流狂言の練習会「驚流狂言伝習会」は山口ふるさと伝承総合センターで毎週土曜日18時から。
代表 樹下明紀
TEL 083-920-4111 (山口市教育委員会文化財保護課)

山口市原爆被害者の会

核兵器の恐ろしさを後世に伝え戦争のない世界を願いながら、学校などへの語り部派遣や三二原爆展などを行っている。
代表 田中敏彦
TEL 083-923-2816

団体紹介

ピース★バンビーノ
平和について知り、考え、伝えるきっかけのタネをまこうと活動している。年1回開催のピース★デイ、平和のツリー、広報紙「ピース★版」発行 他。
代表 久保香純
ブログ http://peacebambino.soreccha.jp/

一の坂川周辺地区ブロック協議会

一の坂川の自然保護と魅力あるまちづくりに取り組んでいる。
代表 中野雅恵
ブログ http://blog.canpan.info/sakura04/

肉球生活向上委員会 With Wan

動物のいる生活に責任をもった飼い主さんを増やし犬猫の殺処分数を減らしたい、そして動物が苦手な人々にも受け入れられる飼い方を、と「笑う犬猫の生活応援します」を合言葉に活動中。
代表 とよた GON 春吉
メール gon@c-able.ne.jp
ブログ http://www.saporant.jp/e-lib/?id=208

やまぐち食育くらぶ

食育を通して子どもたちの豊かな人間形成に貢献し、みんなが健康に暮らす明るい社会作りを目指す。
代表 西本葉子
ブログ http://ukykycom.soreccha.jp/

クイズに答えてプレゼントをもらおう！

以下を明記のうえ、ご応募ください。

- お名前・ご住所・年齢・職業・電話番号
- クイズの答え
- ええやん新聞を手に入れた場所
- 取り上げて欲しいテーマ、市民活動団体
- ええやん新聞11号へのご意見、ご感想

山口県農業協同組合 山口県産 乾椎茸
締切 2015年 5月31日
5名様

宛先はこちら
〒753-0047 山口市道場門前1-2-19 さぼらんて
TEL: 083-901-1166 FAX: 083-901-1165 E-mail: saporant@c-able.ne.jp
FAX、メール、はがき、持参にて必要項目をお書きの上、ご応募ください。

ピース★バンビーノが、手形と一緒に平和の願いを書いて飾り付けるのは？
○○のツリー

石田 今後は本を担う子どもたちへ語り継ぐことの大切さを伝えてもらいました。私にもみしかできないことがあるはず！2年間のええやんとの経験と出会いを大切にしていきたいと思っています。

藤岡 この2年間で取材を重ねるたびに「山口って素敵だな」という思いが募りました。街並みだけでなく、山口に住む人々も私も素敵な山口をつくる一員として一躍できただけです。

河村 平和、まちづくり、食、など、私たちがみんなと知っていかないといけなくて実感しました。大分がっつりわかっていけば、日常の半も伝わることがあるんじゃないかな。

田中 先生が歴史を伝え、命は私たちが守らなければいけません。何もない毎日にも感謝して、謙虚に生きていきたいですね。

デザイン・イラスト/やまであかね

子どもたちに伝えたい『平和への願い』

山口市原爆被害者の会



取材場所 (財)山口県原爆被爆者支援センターゆだ苑
山口市元町 3-49
TEL 083-922-4185
http://www.yudaen.org/

増原さん 19才で軍隊に召集されて8月1日に広島市に入り、6日に被爆しました。原爆ドームから2キロ間である兵舎から外に出ようとした瞬間でした。外に出たら即死だったと

子育て世代のママたちも平和を願い こんな活動をしています！ ピース★バンビーノ

ピース★バンビーノ代表の久保香純さんは長崎県出身。子どもの頃から夏になると平和を考える環境が身近にありました。セタイイベントに参加したとき、山口でもこれを何か平和に結びつけることはできないかと考え、平和のツリーとして手形と一緒に平和の願いを書いて飾り付けることに。これをきっかけにピース★バンビーノを立ち上げ、年に一回行うメインイベント「ピース★デイ」の他に、子育てママに役立つ講座を開きながら、平和について一緒に考えてもらえるような活動をしています。



2012年ピース★デイでの平和のツリー

とを心がけてみるのが大切ですね。それが平和につながっていけばいいと思うんです」と久保さん。何気なく過ごしている日々の中で、平和とはどういうことかを親子で考えてみるのもいいかも。平和につながる大切なことは案外身近にあるのかもしれない。

戦争のない核兵器のない世の中に
日本は今年で戦後70年を迎えますが、世界のいたるところで今もテロや紛争が絶えません。戦争を知らない世代が増え、戦争の記憶が風化していく中で、私たちは平和のために何ができるのでしょうか。戦争がいかに悲惨なものか、平和がいかに大切かを語り継ぐ活動をしている山口市原爆被害者の会の皆さんにお話を伺いました。

増原さん どうして戦争になったのか、戦争を避けるにはどうしたらいいのかが、私たちはどうするべきかを伝えていきます。それから原爆の威力のすさまじさ、熱線、爆風、放射能のことを話しています。投下されたらそこで平和に暮らしている人々の命が一瞬で失われてしまうんです。生きていけば未来があったら若い人もたくさん死んでしまいがち。長崎の原

爆投下の日のこと、終戦の日のことを、その日に思い出してほしいですね。子どもたちには、みんな仲良くして人の痛みが分かるようになってほしい、それがまず皆さんにできることなんだと話しています。



昨年11月にさばらんで開かれたミニ原爆展で、山口市原爆被害者の会より小笠原貞雄さんが被爆体験を語ってくださいました。小笠原さんが軍の救助隊として広島市内に入ったのが8月7日の夜明け前、それから6日間傷病人の手当てや死体収容に携わりました。そこには砂漠のような焼け野原が広がり、目に付くものは五右衛門風呂や墓石ぐらいだったそうです。「車両が通れないぐらいのケガ人や死体が道端を埋め尽くし、歩いていくと助けてくださいと足にすがられるけれど、助けようと触ると皮膚がめくれまわってしまう」など当時の生々しい状況が語られました。

戦争はしてはいけないんだと
若い人たちに伝えたい

わたしたちが住むまち山口を知っていますか？

一の坂川周辺地区ブロック協議会



★下の写真を撮影した場所

「昔の風景」を取り戻すため、20年にわたって一の坂川の再生にこだわり関わってきた。一の坂川周辺地区ブロック協議会と地域の活動を、ビッグアップしました。

「子ども時代に慣れ親しんだ川の姿を取り戻したい」という思いを持った周辺地域の住民は平成7年、川の再生を訴えはじめました。しかし、その思いはなかなか実現しませんでした。



浅かった一の坂川 昭和39年、栗林和彦さん撮影
放水路になった一の坂川 昭和55年、藤本源之助さん撮影
平成27年現在 再生工事後は川に下りられるように工夫され、ほたる広場なども完成した

こで平成15年、住民たちは「一の坂川周辺地区ブロック協議会」を立ち上げ、志を一つにし声をあげました。再生工事が始まりました。そして平成27年3月、間もなく工事が全て終了します。20年もの年月を経てようやく念願だった「昔を思い起こさせる川の姿」を取り戻すことができました。一人ではできないことも皆でがんばることで目的が達成されたのです。

一の坂川周辺地区ブロック協議会
代表 中野雅恵さん
千歳橋と笠着橋の間に位置する「ギャラリー・ナカノ」から78年間にわたり一の坂川を見守ってきた。山口のフリーペーパーでコラムを掲載するなど、風土・生活を中心にした昔から今の山口を紹介する語り部としても活躍中。

あたたかい食事と食卓で、みんな元気！

やまぐち食育くらぶ



やまぐち食育くらぶ
代表・食育指導士
うっぴー☆西本葉子さん

手作りのあたたかい食事を家族でいただくということ。それは、食から栄養を摂るだけでなく、大切なことを感じる貴重な時間です。感謝する心、みんなで食べる幸福感。育ち盛りの子どもたちには、食物からのバランスの良い栄養と一緒に、心にも栄養をたっぷりあげたいものです。

「まごわやさしい」とは？
まめ……豆腐、味噌などの豆類
ごま……ごまなどの種実類
わかめ……わかめ、昆布などの海藻類
やさしい……緑黄色野菜、根菜など
さかな……魚介類
しいたけ……きのこ類
いも……さつまいも、こんにゃくなどの芋類

recipe まごわやさしいだんご汁

材料(4人分)
・豆腐、ごま、ねぎ、旬の野菜、さつまいも…お好きなだけ
・味噌…大さじ2
・(ダシ)しらす干し…10g 干し椎茸、昆布…適宜 水…600cc
・(白玉だんご)白玉粉…30g 豆腐…50g

作り方
1. 白玉だんごを作る…白玉粉に豆腐を入れてよくこね、丸めてゆでる。浮いてきたらすくい取り、水を入れたボウルに入れる。
2. 別の鍋に水を入れ、しらす干し、キッチンペーパーで細く刻んだ昆布・干し椎茸を入れる。
3. 鍋を火にかけ、適当な大きさに切った具を入れる。
4. 具に火が通ったら、味噌を溶き入れる。
5. 汁を器に盛り、白玉だんご、ねぎ、ごまを入れる。

山口県産 乾椎茸
山口県椎茸農業協同組合
山口市桜島2丁目7-3(山口県立大学正門前)
TEL 083-928-0336

今回のオススメ
読者のプレゼントPAへGO!

ダシはそのまま食べられ手間要らず。ダシからもミネラルがしっかりと摂れます！さつと食べられ体があたたまる。朝ご飯にピッタリのメニュー。朝作るのが大変な方は、夜に多めに作って貝沢山のお味噌汁、朝はだんご汁でどうぞ！